

2019年10月18日
日本貨物鉄道株式会社

台風19号の影響に伴う代行輸送の実施について (10月18日9時現在)

10月12日に上陸した台風19号の影響により、現在も一部の区間において貨物列車の運転ができない状況となっています。弊社では、不通となっている東北線区間の代替として、日本海縦貫線を経由した迂回輸送を行っておりますが、併せて、トラックおよび船舶による代行輸送を実施します。現在の貨物列車の代行輸送区間並びに不通区間は下記のとおりですが、今後もJR旅客会社等と連携し、可能な限り輸送力を拡充していくとともに、運転再開の準備を進めてまいります。

下線部が、ニュースリリース(10月16日15時現在)から更新した情報となります。

1. 運休等

東海地区・関東地区・東北地区を通過・発着する貨物列車について、11日(金)から17日(木)までにコンテナ列車 512本、車扱列車 28本が運休となっています。

2. 現在の運転中止区間(別紙1をご参照)

以下の複数区間で運転を見合わせています。

- ・中央線 四方津～梁川間、高尾～相模湖間(10月末頃運転再開見込み)
- ・東北線 新白河～郡山夕間 (運転再開まで2週間程度の見込み)
郡山夕～岩沼間 (運転再開まで1週間程度の見込み)
- ・武蔵野線 梶ヶ谷夕～府中本町間 (10/21中の運転再開見込み)

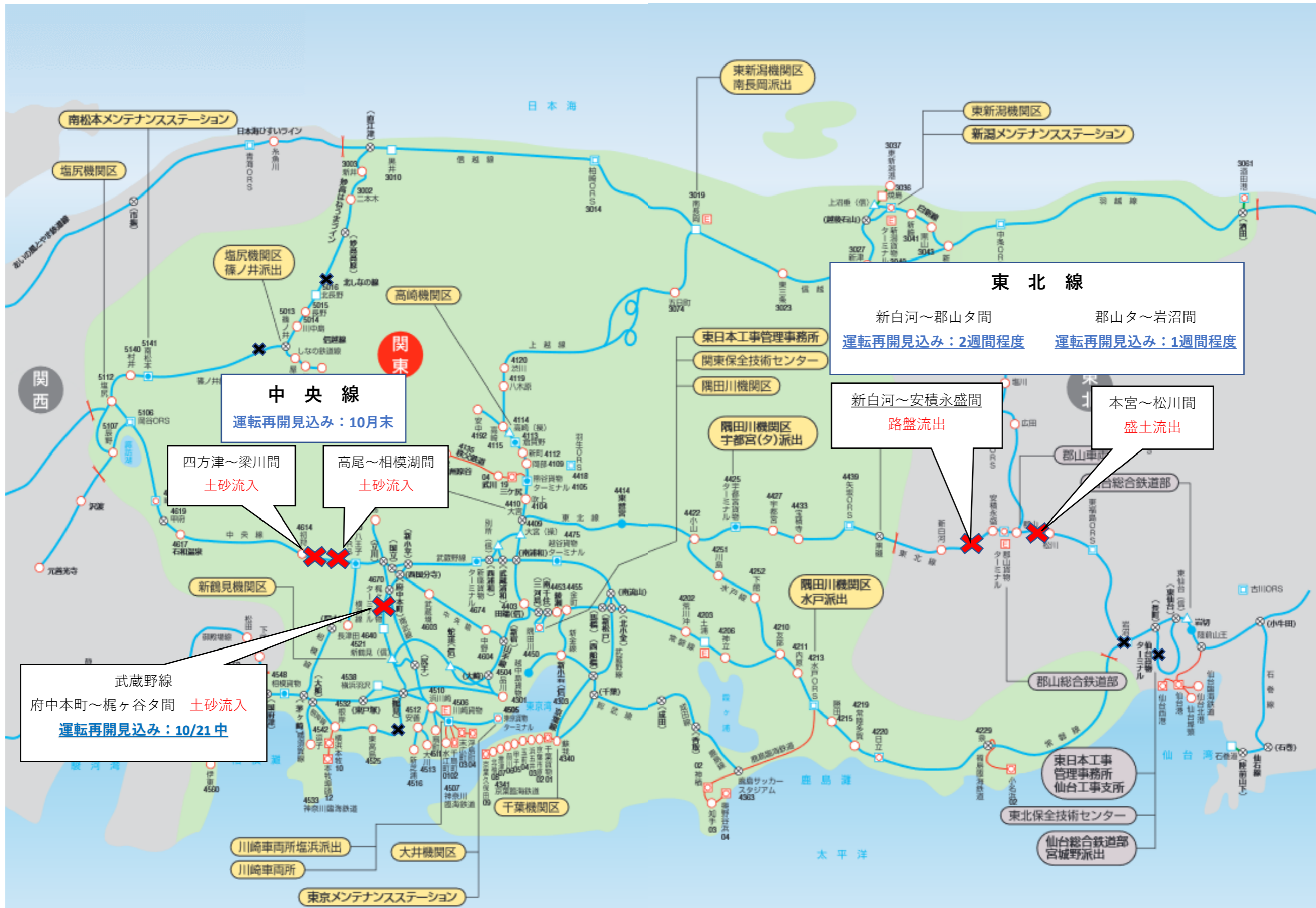
※武蔵野線復旧により、東海道線方面と東北・上越線方面等を結ぶ列車を運転再開します。
※各区間の運転再開については、設備を所有しているJR旅客会社の復旧作業の状況を勘案し検討を行ってまいります。
※「夕」は「貨物ターミナル駅」の略

3. 迂回輸送の実施について(別紙2をご参照)

- (1) 区間：隅田川～札幌夕
開始日・輸送力：10/15～ 20両編成 1往復/日
- (2) 区間：名古屋夕～札幌夕間
開始日・輸送力：10/15～ 20両編成 1往復/日

4. 代行輸送の実施について(別紙2をご参照)


- (1) トラックによる代行
区間：宇都宮夕～仙台夕間
開始日・輸送力：10/17～ 最大114個/日
- (2) 船舶による代行
区間：東京夕～釧路貨物間(東京港～釧路港間 船舶)
開始日・輸送力：10/18～ 30個/日

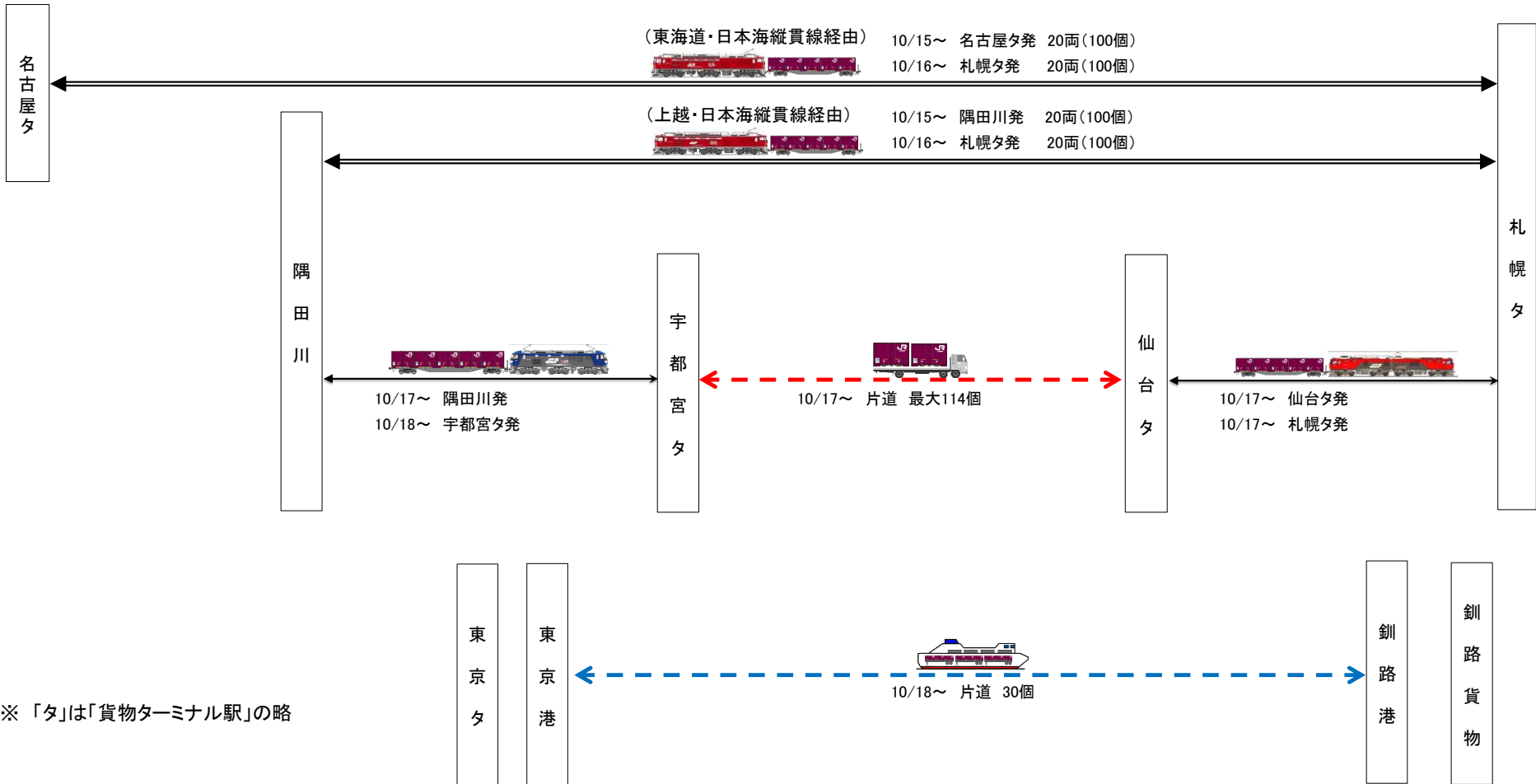


※下線部が、ニュースリリース（10月16日15時現在）から更新した情報となります。

台風19号の影響による代行輸送・迂回運転 (2019年10月18日現在)

別紙2

【凡例】
 折返し運転
 う回列車運転
 トラック代行
 船舶代行



※ 「タ」は「貨物ターミナル駅」の略